

、後荒木桐生市長にご挨拶を頂き、続いて金子勇人さんの聖書朗読、その後、全員で聖しこの夜を斉唱して厳かにクリスマス祭が進行して行きました。

第二部のクリスマスパーティーは、司会を深津委員に替わり、一転して明るく賑やかに進行されて行きました。アトラクションは、女性社員によるフラダンスから始まり、ピアノとヴァイオリンの素晴らしい演奏へと進み、会場はすっかりクリスマス一色となりました。拍手で迎えられた、恒例のサンタクロースが登場。今年は茂木秀之理事にお願いし子ども達へプレゼントを渡して頂きました。その後は、行事交流委員会に用意して頂いたプレゼントおよび理事を中心にご協力いただいたプレゼントの抽選会が大盛況のうち行われ、大人も子どもも満面の笑顔でプレゼントを受け取っていました。全員が沢山のクリスマスプレゼントを笑顔で持ち帰って行きました。良い年越しになったと思います。ご参加頂きました社員の皆様、ご協賛頂きました社員の皆様、特に美味しい料理、お酒の手配から会場設営、後片付けまで全てして頂きました行事交流委員会の皆様に感謝申し上げます。次回のクリスマスは、私も孫を連れ家族で参加しようと思いました。

(須永博之 記)



**「来た人だけが得をした！」
音楽鑑賞部会
「お琴と竜笛の調べ」**

あらあ！二階大広間に一歩足を入れた時に14, 5面のお琴が並べられ、その数に驚きました。前日中に「桐生大学附属中学校・桐生第一高等学校琴部」の皆さんが用意をしてくださっていたのです。お琴の数は、今年の演奏会の時の2倍はあったでしょうか。ちなみに部員数も今年の2倍くらいに、また映画「国宝」ではありませんが男子部員も2名入っていたのです！！



プログラムは「六段の調べ」から始まり、なんと今回は三弦（三味線）が加わり曲調をより美しくしていました。琴部全員での「里の秋」等々の演奏が続く中、琴部を指導してくださっている野沢先生の「ざしき童子（ぼっこ）のはなし」では、先生の語り口とともに聞こえるお琴の音で閉じている目の前に「ぼっこ」が見えるようでした。

狩衣姿の川村隆様の竜笛は、以前見た雅楽の舞を思い出させてくれ、幽玄でしばし時を忘れしました。素晴らしい演奏の最後に、これから行われるコンクールへの参加曲「螺鈿」を聞かせていただきました。コンクールでは素晴らしい演奏を全国の皆さんに聞かせてくださいね。